

令和6年度東京都立日野台高等学校学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立日野台高等学校学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 副校長、経営企画室長、主任教諭(総務主任兼務)＝事務局長、計3名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭及び主任教諭8名（教務主任、生活指導主任、進路指導主任、保健部主任、総務部主任、第1学年主任、第2学年主任、第3学年主任） 計11名
- (4) 協議委員の構成（氏名の掲載も可）
教育関係者（大学教授1名、日野市教育委員会1名、近隣中学校長1名、近隣小学校長1名）、PTA会長、同窓会会長、地域代表3名、学習塾代表1名 計10名

2 令和3年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
第1回 令和6年6月26日（水）内部委員9名 協議委員7名 欠席5名
・協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出
・学校経営計画・概要、昨年度の学校運営連絡協議会の課題
・本校の現状（各分掌・学年の計画及び状況）
第2回 令和6年11月14日（水）内部委員7名 協議委員8名 欠席6名
・令和6年度学校評価の内容検討、教育活動現状報告
・協議委員からの教育活動に対する意見、協議
第3回 令和7年3月11日（木）内部委員11名 協議委員9名 欠席1名
・学校評価アンケートの集計結果報告
・各分掌・学年の年間報告
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
第1回 令和6年11月14日（水）内部委員1名、協議委員1名
・学校評価の基本方針の確認、設問文の検討
・今年度の学校評価の実施に向けた検討、近隣等対象の見直し
第2回 令和7年3月11日（水）内部委員1名、協議委員1名
・アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理、評価報告書

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
・学校経営の方針が生徒、保護者、教職員に周知されているか、在校生と保護者の意識のあり方がどのようなものであるのかを明らかにして改善に資する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
・12月 生徒（全校生徒）131人 13.9% (Forms)
・12月 保護者全員 481人 51.0% (Forms)
・12月 地域・住民 8人 66.7% (アンケート用紙)
・12月 教職員 35人 70.0% (Forms)
＊生徒のアンケートへの回答率が非常に低い。今後はアンケートの実施方法を含め、検討する必要がある。
- (3) 主な評価項目
・「学校生活全般」「学習活動」「生活指導」「進路指導」「教育相談」「施設」「学校の窓口対応」「ライフワークバランス」等の観点で実施した。
- (4) 評価結果の概要（学校及び校長への意見・提言内容）
＜学校生活全般＞＊全数値が前年度と比較してさらに増加
ア「充実感や満足感を感じている」・・・生徒94.7%、保護者90.9%、教員91.4%
イ「本校へ入学してよかった」・・・生徒93.9%、保護者93.6%
＜学習活動＞
ア「教員は授業改革に努めている」・・・生徒87.0%、教員80.0%

イ「わかる/出来るようになったと実感できる授業」・・・生徒 86.3%、保護者 58.0%、教員 77.1%

＊生徒微増だが、保護者、教員の意識の違いがある。授業内容の更なる充実を図ることが課題である。

ウ「生徒の予習・復習のための家庭学習時間は十分である」・・・生徒 63.4%、教員 65.7%

生徒は昨年度に比べ増加。部活動等と勉強との両立の指導を継続していく必要がある。

エ「学期中及び長期休業中の補習や講習に満足している」・・・生徒 70.2%、保護者 70.9%

数値はやや上昇した。今後も補習・講習のブラッシュアップ、精選を実施していく。

<生活指導>

ア『日野台スタンダード』を意識して学校生活を送っている」・・・生徒 47.3%、教員 65.7%

イ「学校の基本的な生活習慣への指導には満足している」・・・生徒 84.0%、保護者 87.9%、教員 88.6%

ウ「学校行事が活発である」・・・生徒 81.7%、保護者 93.3%、教員 94.2%

エ「部活動は活発である」・・・生徒 93.9%、保護者 94.0%

オ「通学時の交通マナーを指導している」・・・生徒 90.1%、教員 65.7%、地域 50%

＊行事の充実度は、昨年度ほぼ同数値だが、部活動については、1割以上上昇した。『日野台生活スタンダード』は周知が不十分。今後掲示物でPR するなどの工夫が必要。交通マナーはヘルメットの着用指導がまだまだ徹底できていない。交通マナーの苦情電話についてはほとんどない。

<進路指導>

ア「あなたは進路目標の実現のために努力している」・・・生徒 80.2%、保護者 83.0%、教員 91.4%

イ「進路の悩みについて先生から適切なアドバイス等が期待できる」・・・生徒 90.1%、保護者 83.6%

＊生徒や保護者は本校の組織的な進路指導により大いに期待していると言える。

<教育相談>

ア「学校はいじめや体罰をなくすために積極的に取り組んでいる」・・・生徒 87.8%、保護者 58.4%、教員 74.2%

イ「心や体の悩みについて保健室やスクールカウンセラーなど相談しやすい環境が整っている」

・・・生徒 80.1%、保護者 54.6%、教員 82.9%

＊昨年と同様相談できる体制は維持している。生徒の数値は毎年上昇しているが、保護者への周知が不足しており、カウンセラー通信などを用いて広報したい。

<施設>

ア「自習室の環境は十分整っている」・・・生徒 82.4%、保護者 80.7%、教員 80.0%

＊昨年より数値上昇、自習スペースのレイアウト変更し、より集中できる空間になっている。

イ「自習室は学習活動の充実に役立っている」・・・保護者 80.7%、教員 54.2%

＊自習室は、環境面は満足しているが、保護者よりも、教員が利活用について疑問を持っている。

<学校の窓口対応> 「学校の窓口の対応は適切であると思う」・・・生徒 82.4%、保護者 82.1%

<ライフワークバランス> 「本校はライフワークバランスを意識した働き改革を行っている」

・・・教員 48.6% ＊昨年よりも、7%ほど下落した。教職員は年々仕事量が増加する一方、使命感や責任感に基づき業務に専念する傾向にある。業務軽減に向け、学校の教育活動の全体量とバランスを生徒や保護者とともに今後考えていく必要がある。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

（1）学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・令和5・6年度入試と2年連続で国公立大学合格者の数が80名を超えていたが、今年度は60名台とへと後退した。学運協を通して、保護者や近隣小中学校、地域からも進路指導に対する期待が大きいことから、今年度の原因の分析とさらなる改善が必要であることを、教員が身にしみて感じる事ができた。
- ・アンケートの結果より、自習室を整備してから活用する生徒も増えている。また、進路指導部と学年との連携も高く評価され、これに背中を押される形で、さらに連携が強化された。
- ・学校と地域のつながりについて、好意的にとらえていただく意見を多く頂戴した。今後も、部活動を中心に、中学生や小学生に向けての指導を行ったり、地域での発表に取り組んだりなど、地域とともにある学校として、地元の方々と連携を深めていきたい。

（2）学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・アンケートにもあったが、「日野台生活スタンダード」が生徒及び地域に浸透していない。そもそも、「日野台スタンダード」と勝手に略されている。集会やHR活動、行事を通して浸透させ、愛校心を育てていく必要がある。
- ・本校の入試倍率が下がったことについて、委員の方々から多くのご意見をいただいた。私立高校の無償化も

あり、都立高校全体が苦しい状況にある中で、本校が「高いレベルの文武両道」だけでなく、具体的に何を軸に募集に活動に取り組むかを明確にし、企画調整会議などを通して、募集活動には学校全体で取り組まなくてはならない課題であると、再認識した。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

（1）学校運営

- ・令和4年度からの新学習指導要領を踏まえた観点別評価の適正の実施
- ・ライフワークバランスを意識した働き改革の推進
- ・生活指導における通学時のマナー意識の向上や地域の中の学校としての意識化
- ・地域の機関や保護者や近隣の学校との連携を更に推進
- ・日野市市役所、青年会議所や近隣大学、高校と連携した「ひのミラ」活動
- ・ICTを活用した学校からの生徒や保護者への連絡の推進

（2）学習指導

- ・授業改善を図る相互授業見学や研究授業などの組織的な運営
- ・生徒が主体的に学習に取り組む、自学自習時間を確保
- ・教科主任会を中心とした、学校全体での学習指導の方向性の一致。
- ・進学指導業者の講演会や日本語指導の必要な生徒への放課後補習など外部人材の活用
- ・オンライン学習など新たな授業形態の見直し
- ・英語教育研究推進校の後継事業「GE-NET EE」を活用した、英語力の定期的測定の実施。
- ・進路指導につながる英検2次の指導の実施

（3）生活指導

- ・規範意識や責任感の醸成とマナーの実践。
- ・自転車におけるヘルメットの着用についての指導を実施。
- ・生活指導部や学年との連携、また保護者との連携を強化。
- ・部活動などを中心とした、地域との連携。

（4）進路指導（進学指導推進校として）

- ・生徒、保護者に対しより実践的なキャリアガイダンスの増加
- ・高大接続を意識した情報の提供の充実
- ・学年ごとの保護者への進路ガイダンスの充実
- ・第一志望校、国公立大学などの受験に向け、最後まで生徒が挑戦することを後押しする指導の実施。

6 「学校がよかった」と考える協議委員の割合

（1）協議委員人数 10人

（2）学校がよかったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう 思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	そう思わ ない	分からない	無回答
7	1	1	0	0	1	0

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 0回 企画調整会議 0回